

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都福祉専門学校
設置者名	学校法人南京都学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	夜・通信	240	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf">http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf</a> (HP トップ→情報公開→高等教育の修学支援新制度→大学等における修学の支援に関する法律7条第1項の確認に係る申請書 参照)
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都福祉専門学校
設置者名	学校法人南京都学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p><a href="http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf">http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf</a>                  (HP トップ→情報公開→高等教育の修学支援新制度→大学等における修学の支援に関する法律7条第1項の確認に係る申請書 参照)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前職 小学校教諭 現職 民生委員等	令和5年 8月10日 ～ 令和9年 8月9日	地域社会と学校の連携等について、教育的視線と生徒保護者の目線で意見を聞く。
非常勤	現職 衣類販売 (自営業)	令和5年 8月10日 ～ 令和9年 8月9日	社会的なニーズやデータ分析等、主に募集活動について意見を聞く。
非常勤	前職 私立学校学院長 大阪府少林寺拳法連盟 元役員	令和5年 8月10日 ～ 令和9年 8月9日	当学園の教育の柱となっている少林寺拳法の教えと、当学園の建学の精神の具現化等について意見を聞く。
非常勤	前職 南京都高等学校 教頭 現職 浄土宗光傳寺住職	令和5年 8月10日 ～ 令和9年 8月9日	学識と経験から、京都府の私立学校の在り方について意見を聞く。
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都福祉専門学校
設置者名	学校法人南京都学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業計画(シラバス)の作成過程 次年度における各授業科目の担当教員を決定し、シラバスの作成を依頼。 学習効果向上、授業のイメージづくり、カリキュラム全体の一貫性等の機能を考慮し、決められたフォームで作成。</p> <p>○授業計画の作成・公表時期 新年度 4 月当初、生徒にオリエンテーションで配布・説明。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf">http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf</a> (HP トップ→情報公開→高等教育の修学支援新制度→大学等における修学の支援に関する法律 7 条第 1 項の確認に係る申請書 参照)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>○評価</p> <p>(1) 総合評価の基準 100 点満点で評価され、60 点以上を合格とし、59 点以下を不合格とする。</p> <p>(2) 総合評価 評価方法 (1. 定期試験 2. 課題 3. 技術・技能評価 4. 学習・実習態度)</p> <p>(3) 成績の通知 成績不可の生徒に対しては掲示により通知する。</p> <p>(4) 進級判定 1 年次の生徒が 2 年次へ進級する際は進級判定会議を行う。</p> <p>(5) 卒業判定 2 年以上在学している生徒の卒業は卒業判定会議を経て校長が認定する。</p> <p>(6) 総合判定の表記 履修した科目については、4 段階で評価する。 優：100～80 良：79～70 可：69～60 不可：59 以下</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○指標

自律的学習の促進および学習指導等に活用し、また各生徒の成績を把握することを目的として、GPA (Grade Point Average) を実施する。  
各生徒の履修登録科目の成績評価をグレード・ポイント (GP) に変換し、その総和を履修科目数の総和で除した値をGAPとする。

○成績の評価とGPの対応

成績の評価		GP (グレード・ポイント)
素点	評語 (成績表示)	
100～80	優	3.0
79～70	良	2.0
69～60	可	1.0
59 以下	不可	0

○GAP算出方法

$$GAP = \frac{\text{当該期間において履修登録した科目のGPの総和}}{\text{当該期間において履修登録した科目数の総和}}$$

注) GPA算出においては、不可科目および学期途中の履修中止科目も含む。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

[http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024\\_youshiki2.pdf](http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf)  
(HP トップ→情報公開→高等教育の修学支援新制度→大学等における修学の支援に関する法律7条第1項の確認に係る申請書 参照)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○ディプロマポリシー (進級・卒業認定、専門士授与に関する方針)

本校所定のカリキュラムを修了した者には卒業認定と同時に「専門士」と称することが認められる。また、「職業実践専門課程」修了者として福祉業界の発展と公共の福祉の推進に寄与することができる「確かな知識や技術力」、さらに「人間力」即ち、社会・対人関係力、自立力を身につけ、社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身につけていることとする。

○卒業要件

1年次は800時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1,910時間以上を履修することを卒業要件とする。

○卒業認定

2年以上在学している生徒の卒業は卒業判定会議を経て校長が認定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

[http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024\\_youshiki2.pdf](http://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/download/2024_youshiki2.pdf)  
(HP トップ→情報公開→高等教育の修学支援新制度→大学等における修学の支援に関する法律7条第1項の確認に係る申請書 参照)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都福祉専門学校
設置者名	学校法人南京都学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="#">2024 self-assessment.pdf (mkg.ac.jp)</a> (HP トップ→情報公開→自己点検→自己点検・評価報告書 及び事業報告書)
収支計算書又は損益計算書	<a href="#">2024 self-assessment.pdf (mkg.ac.jp)</a> (HP トップ→情報公開→自己点検→自己点検・評価報告書 及び事業報告書)
財産目録	<a href="#">2024 self-assessment.pdf (mkg.ac.jp)</a> (HP トップ→情報公開→自己点検→自己点検・評価報告書 及び事業報告書)
事業報告書	<a href="#">2024 self-assessment.pdf (mkg.ac.jp)</a> (HP トップ→情報公開→自己点検→自己点検・評価報告書 及び事業報告書)
監事による監査報告（書）	<a href="#">2024 self-assessment.pdf (mkg.ac.jp)</a> (HP トップ→情報公開→自己点検→自己点検・評価報告書 及び事業報告書)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
福祉		教育・社会 福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,910 時間 単位時間/単位	800 単位時間 /単位	780 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,030 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		58人	14人	3人	29人	33人	

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要）          次年度における各授業科目の担当教員を決定し、シラバスの作成を依頼。          学習効果向上、授業のイメージづくり、カリキュラム全体の一貫性等の機能を考慮し、決められたフォームで作成。</p> <p>○授業計画の作成・公表時間          新年度4月当初、生徒にオリエンテーションで配布・説明。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>○評価</p> <p>(1) 総合評価の基準          100点満点で評価され、60点以上を合格とし、59点以下を不合格とする。</p> <p>(2) 総合評価          評価方法（1. 定期試験 2. 課題 3. 技術・技能評価 4. 学習・実習態度）</p> <p>(3) 成績の通知          成績不可の生徒に対しては掲示により通知する。</p> <p>(4) 進級判定          1年次の生徒が2年次へ進級する際は進級判定会議を行う。</p> <p>(5) 卒業判定          2年以上在学している生徒の卒業は卒業判定会議を経て校長が認定する。</p> <p>(6) 総合判定の表記          履修した科目については、4段階で評価する。          優：100～80 良：79～70 可：69～60 不可：59以下</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）          （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>○ディプロマポリシー（進級・卒業認定、専門士授与に関する方針）          本校所定のカリキュラムを修了した者には卒業認定と同時に「専門士」と称することが認められる。また、「職業実践専門課程」修了者として福祉業界の発展と公共の福祉の推進に寄与することができる「確かな知識や技術力」、さらに「人間力」即ち、社会・対人関係力、自立力を身につけ、社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身につけていることとする。</p> <p>○卒業要件          1年次は800時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1,910時間以上を履修することを卒業要件とする。</p> <p>○卒業認定          2年以上在学している生徒の卒業は卒業判定会議を経て校長が認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員（チーム担任制）による相談・指導等の対応。</li> <li>・学内及び学外の支援制度を利用（介護福祉士修学資金制度・JASSO）</li> <li>・定期健康診断の実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	2人 (5.4%)	35人 (94.6%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者関係施設等			
(就職指導内容) ・介護実習や各施設の就職説明会に参加。 ・京都府社会福祉協議会主催就職説明会への参加。 ・京都市老人福祉施設協議会主催就職説明会に参加。 ・学内における就職指導の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・レクリエーションインストラクター ・レクリエーション介護士 ・認知症ライフパートナー ・福祉住環境コーディネーター ・宇治市防災研修 ・視覚障害者ガイドヘルパー ・認知症サポーター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	1人	1.7%
(中途退学の主な理由) 不登校による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・カウンセラーの導入 ・欠席回数把握と生徒面談・相談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	100,000 円	700,000 円	350,000 円	施設運営費：150,000 円 実習費：200,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<独自の奨学金>学園ファミリー奨学金制度 (卒業生子弟等支援・兄弟等在籍支援) <授業料減免制度>新入生対象 (福祉人支援制度・福祉、介護家族支援制度・リベラルアーツ奨励制度・一人暮らし支援制度・クラブ活動継続奨励制度・再進学応援制度・資格チャレンジ奨学金制度・A0 入試前期奨励制度)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <b><u>2024_hyoukahoukoku.pdf (mkg.ac.jp)</u></b> (HP トップ→情報公開→自己点検・評価報告書及び事業報告書 参照)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検評価を基に、第三者の目から見た貴重な意見を可能な限り取入れ、社会に貢献できる人材を育成することを基本方針とする。 施設・設備および教育環境の改善、危機管理などに対するの評価から、改善策・時期を計画し実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
京都府レクリエーション協会 副会長	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日(2年)	業界団体の役職員
社会福祉法人 北宇治地域包括支援センター センター長	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日(2年)	学会等の学識者
学校法人南京都学園 法人本部企画室長	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日(2年)	学園関係者
学校法人南京都学園 京都廣学館高等学校 教育企画室長	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日(2年)	学園関係者
学校法人南京都学園 京都動物専門学校 副校長	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日(2年)	学園関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <b><u>2024_hyoukahoukoku.pdf (mkg.ac.jp)</u></b> (HP トップ→情報公開→学校関係者評価報告書 参照)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
—		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://kyoto-fukushi.mkg.ac.jp/introduction/data/>

(HP トップ→情報公開→職業実践専門課程の基本情報について 参照)